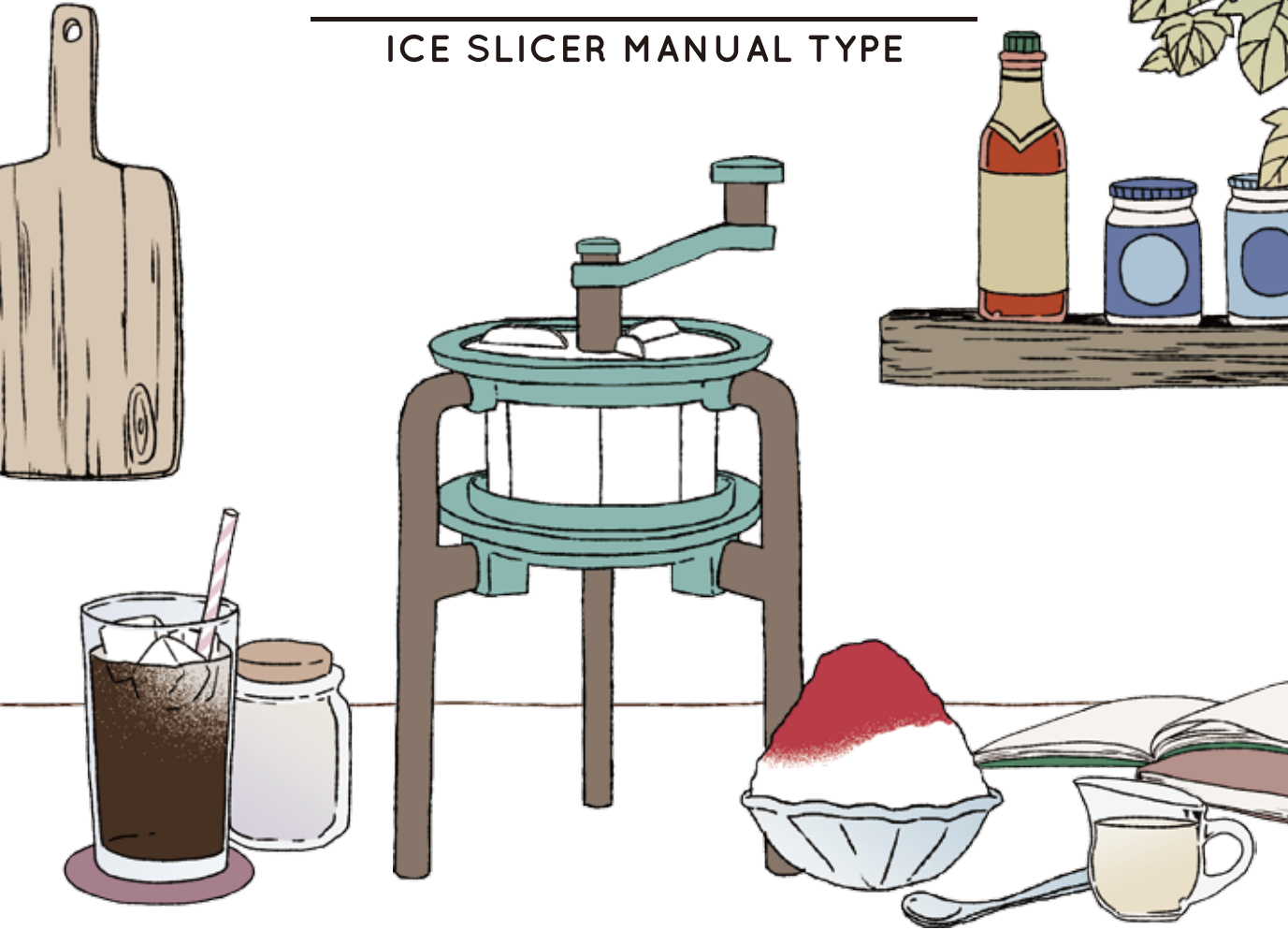


収納を考えた 手動かき氷器

ICE SLICER MANUAL TYPE



取扱説明書



型番：IS-C-B2

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



※ お客様が組み立てていただく製品となっています。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	⊘ は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘ の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	● は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、● の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「必ず実行すべきこと・強制」を示します。)

警告

 禁止	乳幼児・子供だけで使わせたり、手の届く所では使用しない。 けがの原因になります。 組み立て・分解は必ず大人が行なってください。	 指示 正しく組み立ててから使用する。 組み立て途中で使用を開始したり、部品のみで使用すると、故障・けがの原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない。 故障・けがの原因になります。	 分解禁止 初期状態以上に分解しない。 故障・けがの原因になります。修理は販売店またはお客様相談室にご相談ください。

注意

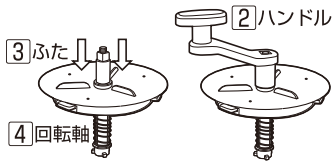
 禁止	ハンドルなどが回らない・動かないときは、無理に動かさない。 無理に動かすと、故障や破損の原因になります。	 禁止	洗うときはお湯・食器洗浄機・食器乾燥機は使用しない。 40℃以上のお湯を使用すると、変形の原因になります。
	傾いた場所などの不安定な場所には置かない。 転倒すると本体の破損、けがのおそれがあります。		冷凍庫から出した氷をすぐに素手でふれない。 氷に皮膚が貼り付いて、皮膚がはがれるなど、けがの原因になります。
	業務用として使用しない。 製品は、家庭用として製造されているため、故障の原因になります。		スパイクや刃にふれない。 けがの原因になります。
	かき氷を作る以外には使用しない。氷ケース部には氷以外のものを入れない。 刃・スパイクなどは、かき氷専用につくられているため、他の用途に使用すると故障の原因になります。	市販のかたい氷は使用しない。 破損や故障の原因になります。	
	変形や破損、異常箇所があるときは使用しない。 けがの原因になります。	 指示	組み立てるときや、使用するとき指などはをさまないように十分注意する。 鋭利な部品もあるため、けがの原因になります。
	水以外のもので作った氷を使用しない。 故障の原因になります。さらに水以外で作った氷を入れると、サビや汚れ、故障の原因になります。		刃が表面に出るときは(氷ケースを取り付けていないとき、氷をのせていないとき)、刃安全カバーを取り付ける。 けがの原因になります。
お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・金属たわしなどを使わない。 変色・変形・故障の原因になります。	製品を使用しないときは、十分に乾燥させ、刃の部分に軽く食用油を塗って、湿度の少ない所へ保存する。 サビの発生やカビが繁殖する原因になります。		

組み立てかた

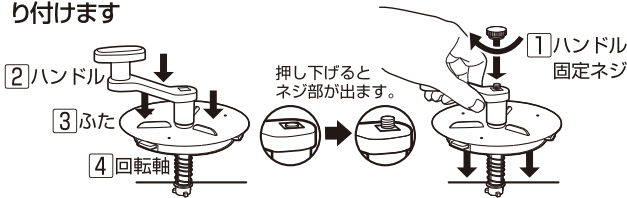
- 部品がすべて揃っているか確認するために、一度、組み立ててください。
- 下図のようにハンドル部と本体に分けて組み立て、最後に本体にハンドル部を取り付けます。
- P.5の「お手入れと保存」をよく読んで使用前にすべての部品を十分水洗いしてください。刃・スパイクには十分気をつけてください。

ハンドル部の組み立て

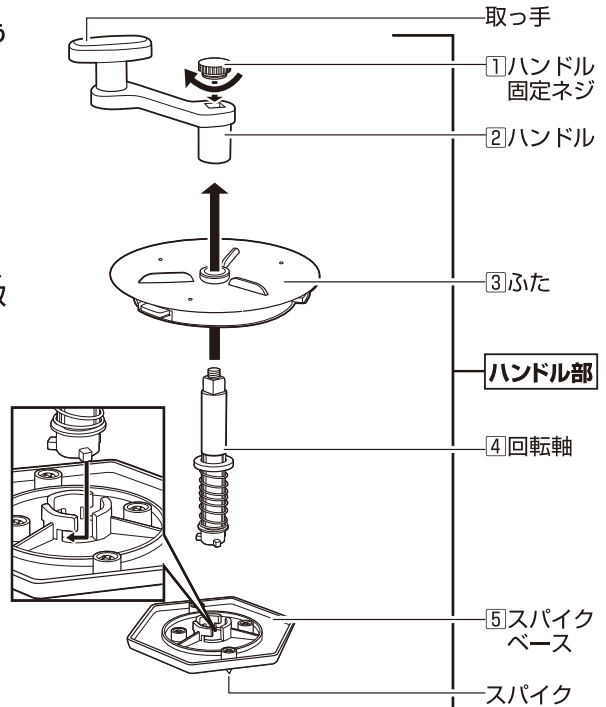
1. ①ハンドルの固定ネジをはずし、③ふたの中心の穴に図のように④回転軸を入れ、ハンドルを取り付けます



2. ネジが見えない状態なので、図のように④回転軸方向に押し、③ふたと②ハンドルを押し込みながら、①ハンドル固定ネジを取り付けます



3. ④回転軸のバネ側に、⑤スパイクベースを取り付ける
 ※スパイクの鋭利な突起に十分ご注意ください。
 ※スパイクベースは回転軸に正しく取り付けてください。
 刃が欠ける原因になります。



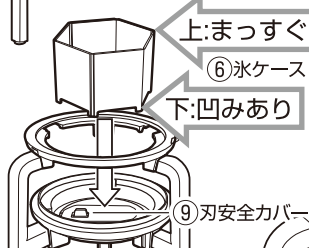
本体の組み立て

1. ⑨刃安全カバーを取り付けたまま、まず⑩脚部1本を、⑦ふた取付リングと⑧刃ユニットに取り付ける
 脚部はそれぞれ1本ずつ奥までしっかりと取り付けてください。

⑦ふた取付リング



2. 3本取り付けてください。⑥氷ケースを右図のように六角形に開いて取り付ける
 ※氷ケースの上下(下が凹みあり)に注意して刃ユニットの溝に合わせて取り付けてください。



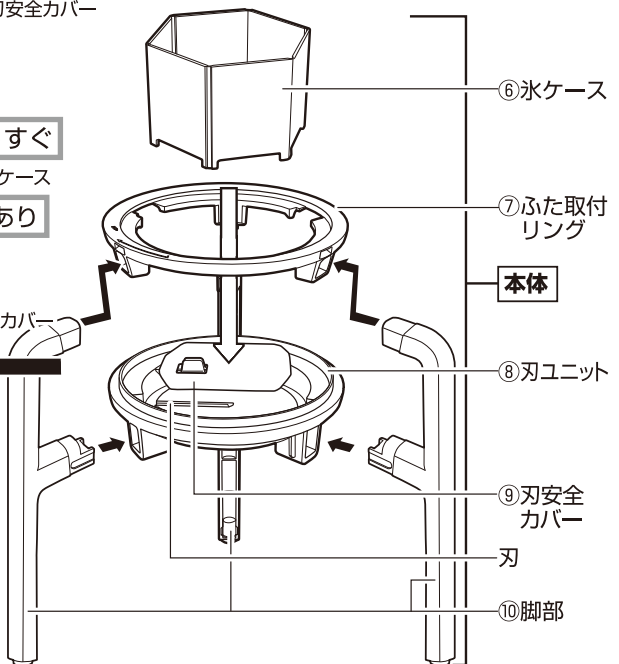
3. 最後に刃安全カバーを取りはずす。

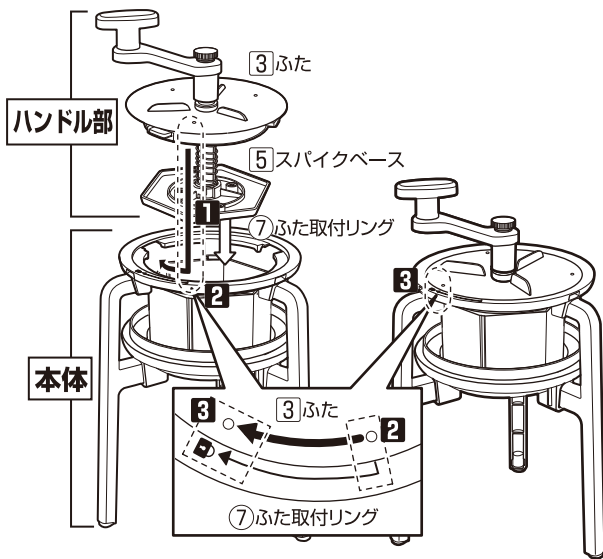
刃安全カバーの取りはずし

氷を入れる前に、刃安全カバーを取りはずします。

⚠️ 注意

- ・ **組み立て、分解は刃があるので危険です。必ず大人が行うようにしてください。**
- ・ 組み立ての際は刃に気をつける。強い衝撃で刃安全カバーが取れてしまうことがあります。
- ・ 組み立て・分解のときは必ず刃安全カバーを取り付ける。





ハンドル部と本体の組み立て

1. ⑤スパイクベースを⑥氷ケースに合わせる①
※スパイクの鋭利な突起に十分注意してください。
2. ③ふたにある○マークと、⑦ふた取付リングにある矢印の根元部分に合わせる②
3. ③ふたを⑦ふた取付リングにある矢印の先端部分まで時計回しに回して固定させる③

組み立て、分解、
収納方法
動画はこちらから



不足品がなければ完成です。
不足品がある場合は、販売店もしくは弊社お客様相談室までご連絡ください。

正しい使いかた

かき氷の作りかた

1. 削った氷を受ける器を、刃ユニットの下に置き、刃安全カバーをはずしてから氷ケースに氷を入れる

※氷ケース内側にある氷入れ線の高さよりも多く氷を入れないでください。ハンドル部を取り付けることができなくなります。

2. 氷ケースに合わせてスパイクベースで氷を押さえながら、本体にハンドル部を取り付ける

①スパイクベースを氷ケースの六角形に合わせてふたを押し込みます。

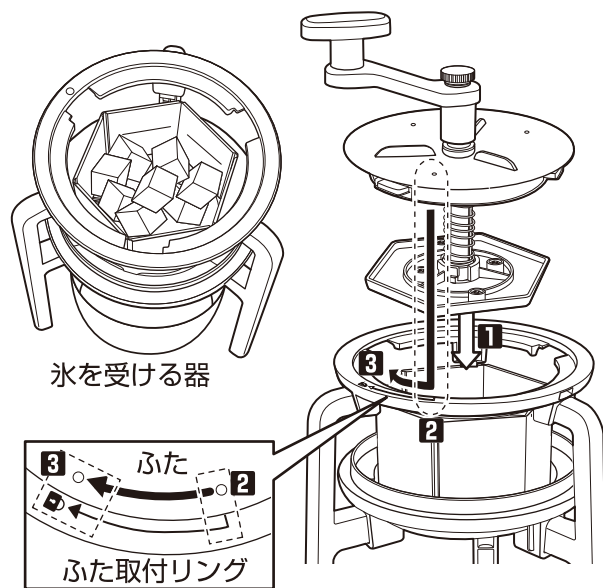
②ハンドル部の○マークとふた取付リングにある矢印の根元部分に合わせて取り付けます。

③時計回しに回して固定させます。

※ハンドル部が取り付けられないときは、氷の量を減らして、取り付け直してください。

3. 取っ手を時計回しに回して、氷を削る

内部に大量の氷があって削れないときは、一度ハンドル部をはずして、内部の氷の位置を均一にし、再度ハンドル部を取り付けて削ってください。



注意

ぬれても問題ない場所で使用する。
周囲に氷(水滴)が飛び散ることがあります。

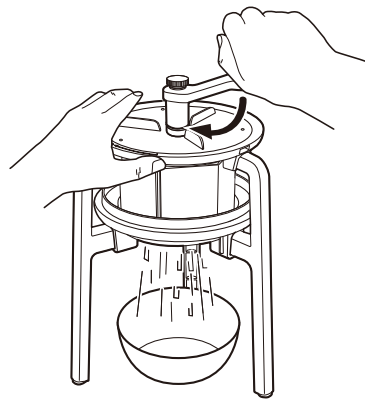
4. 削れた氷が出なくなったら、ふたをはずして、残った氷を取り除く

氷は最後まで削れずに少し残ります。残った氷は捨ててください。

続けて削る場合は、残った氷をすべて取り除いて新しい氷を入れてください。

5. 使用後は、必ずお手入れをする

「お手入れと保存」に従ってお手入れをしてください。



⚠️ 注意

- ・刃やスパイクには十分に注意する。けがの原因になりますので、刃やスパイクにはふれないように、十分にご注意ください。
- ・氷を取り除くとき、素手ではさわらない。氷ケース内に残った氷を取り除くときに素手で行なうと、刃にふれて、けがの原因になります。付属のブラシを使用してください。

⚠️ 注意

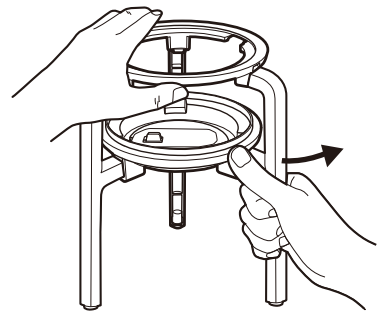
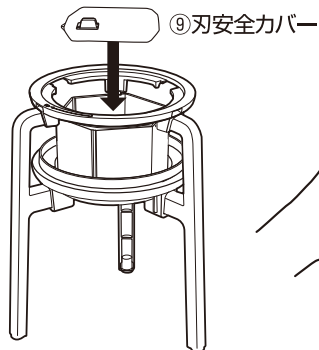
- ・本体を押さえるときは、ふた取付リング上面を押さえる。
- ・脚部にゆるみがないか注意する。削る動作で脚部が外側にゆるむ場合があります。脚部を押し込んでから続けて削ってください。

分解時の注意

- ・組み立て手順の逆の流れで分解してください。
- ・ハンドル部を取りはずしたら、最初に必ず**刃安全カバー**を取り付けてください。
- ・脚部は一本ずつはずしてください。
- ・脚部は図のように下からはずすとはずしやすいです。
- ・刃、スパイクにふれないよう十分に注意ください。

⚠️ 注意

分解時は必ず**刃安全カバー**を取り付けてから分解してください。刃にふれてけがをする恐れがあります。



お手入れと保存

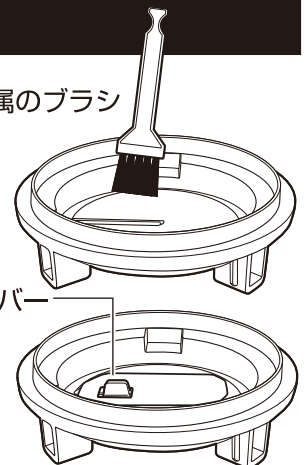
本体・ハンドル部のお手入れのしかた

- ・やわらかいスポンジを使用し、水またはぬるま湯で食器用中性洗剤（柑橘系を除く）を薄めたものを使って洗い、流水で十分にすすいでください。
- ・汚れが落ちにくいときは、水またはぬるま湯で食器用中性洗剤を薄めたものに浸し、10分程度経過してから洗うと効果的です。
- ・刃の部分は、付属のブラシでお手入れしてください。乾燥後、サビの防止のため、両面を軽く食用油を塗っておいてください。

完全に乾燥させた上で、刃には**刃安全カバー**を取り付けてください。

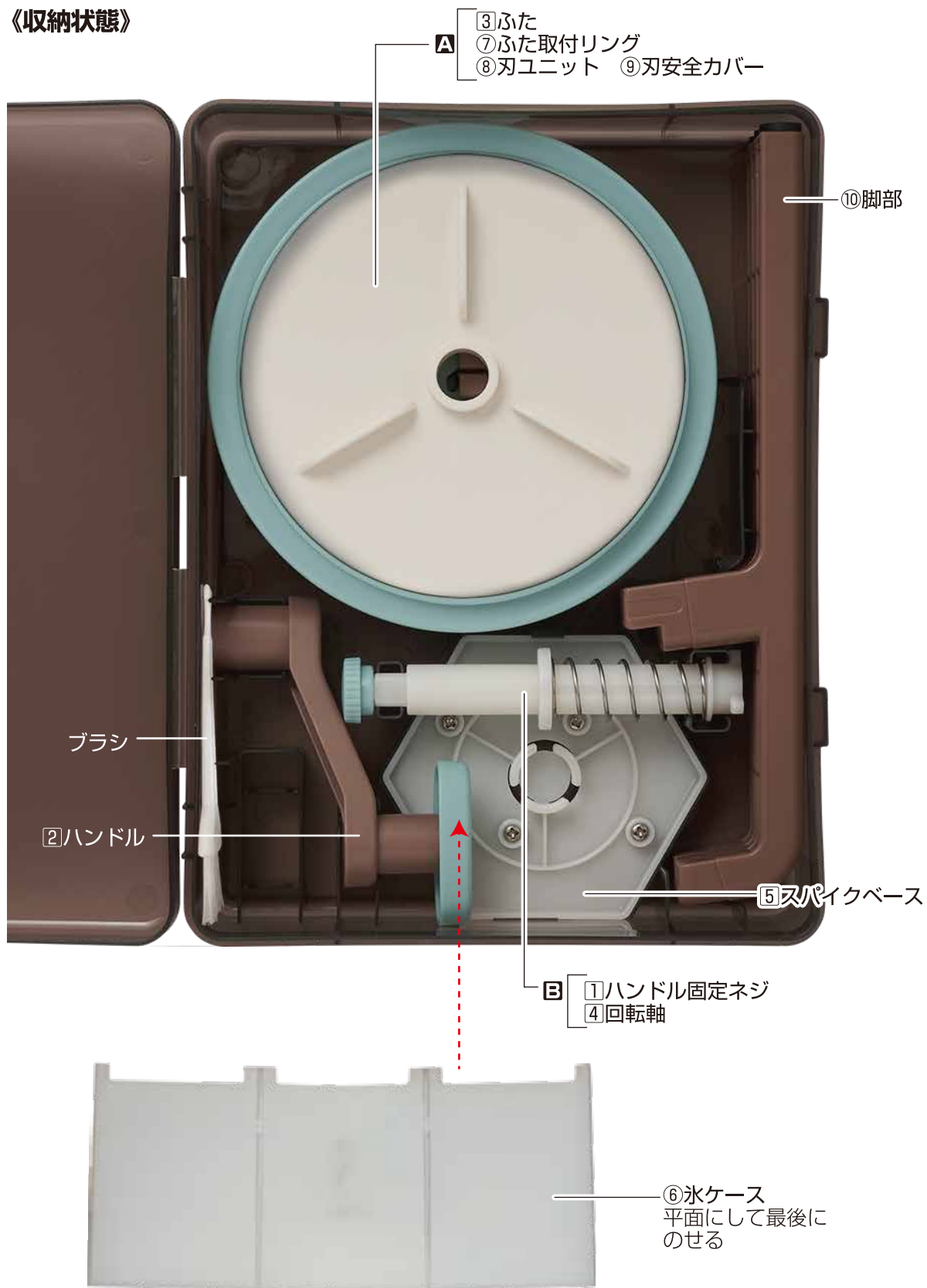
部品の紛失を防ぐために、収納ケース内に収納するか（6ページ参照）、再度組み立てて、乳幼児の手の届かない、安全な場所に保存してください。

付属のブラシ



刃安全カバー

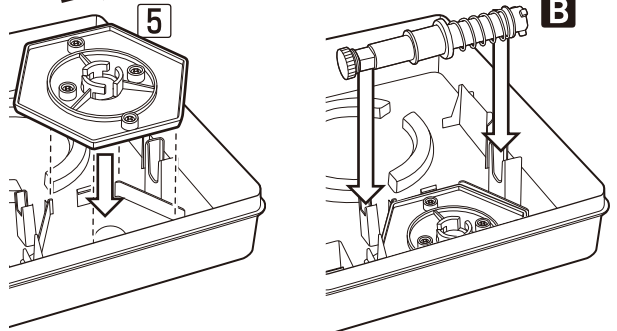
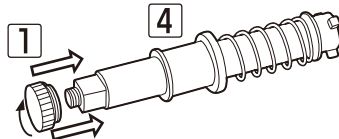
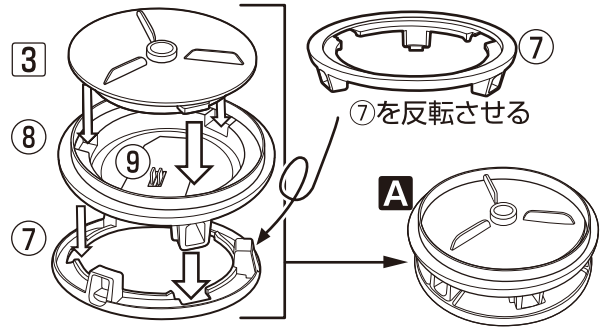
《収納状態》



収納ケースへの収納方法

収納前の準備

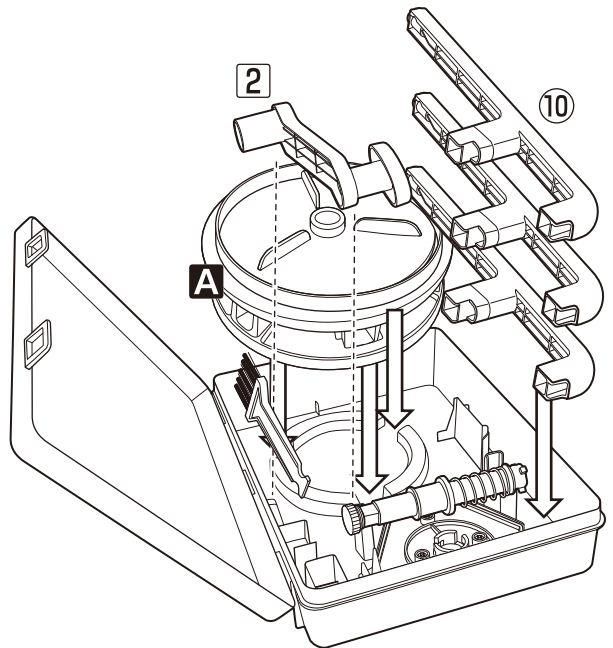
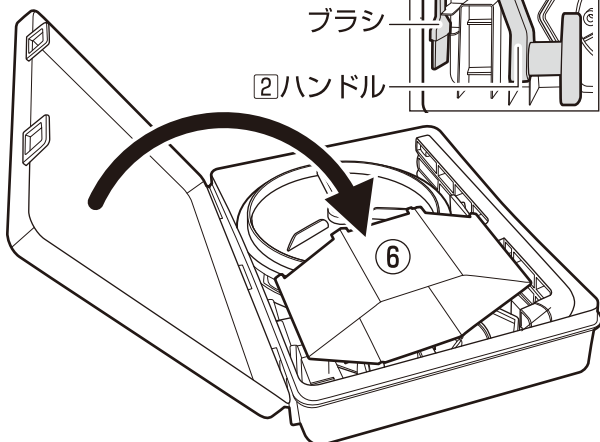
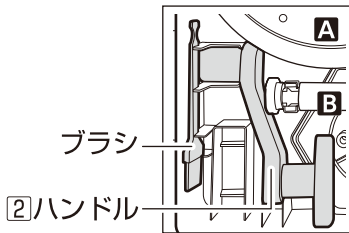
1. ⑤スパイクベースを取りはずす
2. ③ふたの凸を⑧刃ユニットの凹みに合わせて取り付け、
⑦ふた取り付けリングを反転させて⑧刃ユニットの下に取り付ける**A**
- ※⑨刃安全カバーが取り付けられていることを確認ください。
3. ④回転軸の先に①ハンドル固定ネジを取り付ける**B**



収納のしかた

1. 収納ケースの底部の形状に合わせて⑤スパイクベースをしっかり押し込んで取り付ける
鋭利なスパイクにふれないようにご注意ください。
2. **B**を取り付ける
3. 収納ケースの端に⑩脚部×3をはめ込む
4. 収納ケースの底面の形状に合わせて**A**を取り付ける
5. ②ハンドル、ブラシをそれぞれ底面の形状に合わせて取り付ける
6. 最後に⑤スパイクベースの上に⑥氷ケースをたたんでのせる

収納ケースのふたを閉じることで⑥氷ケースが収まります。



修理・サービスを依頼する前に

症状	主な原因	処置
氷が削れない	ハンドルを回すと引っかかる	ハンドル部をはずして、スパイクベースのはずれがないかを確認し、何度か氷の入り具合を調節し、スパイクを突き立てるようにして氷が回るようにする
	スパイクが空回りしている	
	氷ケース内部に削れた氷が残っている	残った氷を捨てる
	氷が氷ケース内でひっかかっている	箸などで氷をかきまわす
	刃安全カバーが付いたままになっている	刃安全カバーを取りはずす
ふたが取り付けられない	氷が多すぎる	氷の量を調節する
氷を削るときに安定しない	脚部がすべて接地していない	・ 3本の脚部が刃ユニット、ふた取付リングに正しく取り付いているか確認する ・ 水平で安定した場所で使用する
	脚部がはずれかけている	脚部を押し込んで、安定した場所で使用する
	氷ケースから氷が飛び散る	小さな氷が飛び散るので新しい氷にかえる
	氷がひっかかる	氷ケース内部の氷の量を調節する

主な仕様

品名	収納を考えた手動かき氷器
型番	IS-C-B2
外形寸法	組立時(約)幅22.0 × 奥行22.0 × 高さ32.5cm ケース収納時(約)幅25.5 × 奥行19.5 × 高さ6.5cm
質量	約 415 g (製品のみ)
付属品	収納ケース×1、ブラシ×1、取扱説明書×1

● 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。

別売の専用製氷カップMサイズも使用することができます。ご購入の場合は、下記お客様サポートのURLもしくは二次元コードからアクセスしてください。

お客様サポート

<https://www.do-cooking.com/support/>



製品情報に関するお問い合わせ

よくあるご質問

製品・パーツ購入のご案内

※製品によっては、パーツ販売をしておりません。

お客様の声(アンケート)

【修理品の送付先】

〒556-0023

大阪市浪速区稲荷1-6

株式会社ドウシシャ
サービスセンター

【電話でのお問い合わせ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、弊社お客様相談室までご連絡ください。



株式会社ドウシシャ

www.doshisha.co.jp

お客様相談室 0120-104-481

【受付時間 9:00~17:00 祝日以外の月~金】

※製品、型番をご確認の上、お電話を頂きますようお願い致します。

※お電話をいただいた際にお話しいただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

MADE IN CHINA